

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(/ /)
授業科目名：幼児教育者論 英語表記：Theory of teacher ナンバリング：2104		単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：眞柄絵里 担当形態：単独
科目/系列	教育の基礎的理解に関する科目/保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)/保育者論		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 保育に関する関係法令や現代の社会的課題について学び、保育者の役割や社会的意義について理解できる。 2. 保育者の職務内容や専門性について理解し、保育者になるための自己課題とその解決方法を説明できる。 3. 子どもの育ちを促すうえで、保育者同士・保護者・専門機関・地域住民など様々な人々と協働することの重要性を理解できる。			
【授業の概要】 保育を取り巻く社会的変化や課題を捉えた上で、保育職の社会的意義、保育者の職務内容と求められる役割、資質能力等について理解を深める。さらに、進路選択に向け自己課題を確立しそれに向けた解決方法を見出すことで、自己研鑽に励もうとする意欲的な姿勢を身につける。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			○
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション・保育・保育者とは 第2回：保育者の使命と制度上の位置づけ 第3回：保育者の服務とマナー・倫理 第4回：保育を取り巻く現状と課題 第5回：保育者の職務内容①「保育者」の視点から 第6回：保育者の職務内容②「子ども」の視点から 第7回：保育者の資質と専門性①子ども理解からはじまる保育 第8回：保育者の資質と専門性②遊びと保育環境の創造 第9回：保育者の資質と専門性③計画に基づく保育実践と省察・評価 第10回：保育者の連携と協働①園内の保育者チームとの連携 第11回：保育者の連携と協働②家庭との連携 第12回：保育者の連携と協働③専門機関や地域との連携 第13回：保育者の連携と協働④小学校との連携		【授業時間外の学習】 ・図書館の資料、新聞、インターネットなどから、保育を取り巻く社会の現状や課題を調べてまとめること。 ・本授業での学習内容を踏まえて、自分なりの理想の保育者像をもてるようにすること。 予習・復習には1～2時間程度の時間が必要である。	

第14回：保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義 第15回：授業のまとめ 定期試験：なし	
【授業の方法】 講義と演習および発表。課題やレポートにコメントを入れて返却する。	
【テキスト】 『幼稚園教育要領解説』・『保育所保育指針解説』・『幼保連携型認定こども園教育保育要領解説』（いずれも平成30年フレーベル館）	
【参考書・参考資料等】 適宜授業内で紹介する。	
【学生に対する評価】 作品課題（40%）、レポート（40%）、授業参画度等（20%）、ルーブリックを活用し、総合的に評価する。	
【履修上の注意】 保育者を志す学生であることを常に意識し、主体的に授業に参加すること。	
実務経験の有無：有	実務経験：元幼稚園教諭・元保育士
【実務経験を生かした教育内容】 私立幼稚園および公立保育園で担任としてクラスを運営してきた経験を活かし、具体的な子どもの姿や保育者の関わりなどをわかりやすく伝え、実践に活かせる保育技術を身につけられるよう授業を行う。	